


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2019年 11月 12日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	義村 弘仁

<p>1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)</p> <p>北海道札幌市・旭川市</p>
<p>2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)</p> <p>ユキヒヨウの腸内細菌研究にかかる打ち合わせ</p>
<p>3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)</p> <p>2019年 11月 7日 ~ 2019年 11月 10日 (4日間)</p>
<p>4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)</p> <p>北海道大学早川助教、旭山動物園</p>
<p>5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)</p> <p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>現在メインテーマとして行なっているユキヒヨウの植物食の研究について、新たに腸内細菌に注目したいと考えており、北海道大学の早川助教と具体的な計画の打ち合わせを行なった。前回の多摩動物園での調査の際に新鮮糞を各個体で採取しているため、来月に再び北大を訪れ抽出などの処理を学ぶ。その後 WRC で過去の糞サンプルを用いて抽出までの作業を行い、年明けに早川研の次世代シーケンサーで分析を行う予定である。打ち合わせの後には北海道大学獣医学部で行われた木下助教と早川助教による講義に参加し、獣医学部の先生方や北大の学生とも交流することができた。</p> <p>また、旭山動物園を訪問し、仔ユキヒヨウの画像からの齢推定について報告を行なった。1個体分のデータではあるが、眼の大きさに対する鼻先の大きさの比率を用いることで月齢に対して有意に単回帰できている。今後他個体の画像を用いて、個体差等を検証していく予定である。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>図：獣医学部での講義風景</p>
<p>6. その他 (特記事項など)</p>